

**【表紙】**

**【提出書類】** 四半期報告書

**【根拠条文】** 金融商品取引法第24条の4の7第1項

**【提出先】** 関東財務局長

**【提出日】** 平成25年8月9日

**【四半期会計期間】** 第98期第1四半期(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

**【会社名】** 北越メタル株式会社

**【英訳名】** HOKUETSU METAL Co., Ltd.

**【代表者の役職氏名】** 代表取締役社長 住田規

**【本店の所在の場所】** 新潟県長岡市蔵王三丁目3番1号

**【電話番号】** 0258-24-5111(代表)

**【事務連絡者氏名】** 常務取締役総務本部長 米山克己

**【最寄りの連絡場所】** 新潟県長岡市蔵王三丁目3番1号

**【電話番号】** 0258-24-5111(代表)

**【事務連絡者氏名】** 常務取締役総務本部長 米山克己

**【縦覧に供する場所】** 株式会社東京証券取引所  
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

## 第一部 【企業情報】

### 第1 【企業の概況】

#### 1 【主要な経営指標等の推移】

回次 会計期間	第97期 第1四半期 連結累計期間		第98期 第1四半期 連結累計期間		第97期	
	自 至	平成24年4月1日 平成24年6月30日	自 至	平成25年4月1日 平成25年6月30日	自 至	平成24年4月1日 平成25年3月31日
売上高 (千円)		5,356,118		4,950,252		20,254,808
経常利益 (千円)		118,072		23,795		488,804
四半期(当期)純利益又は四半期 純損失( ) (千円)		57,179		5,817		284,959
四半期包括利益又は包括利益 (千円)		7,490		52,176		420,323
純資産額 (千円)		13,843,666		14,071,452		14,173,276
総資産額 (千円)		24,905,638		24,470,161		23,741,162
1株当たり四半期(当期)純利益 又は四半期純損失( ) (円)		2.88		0.30		14.43
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益 (円)						
自己資本比率 (%)		55.05		56.96		59.16

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しているため、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載していない。
2. 売上高には、消費税等は含まれていない。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益は、潜在株式が存在せず、また第98期第1四半期連結累計期間については1株当たり四半期純損失を計上しているため、記載していない。

#### 2 【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)において営まれている事業の内容に重要な変更はない。

また、主要な関係会社についても異動はない。

## 第2 【事業の状況】

### 1 【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はない。

なお、重要事象等は存在していない。

### 2 【経営上の重要な契約等】

該当事項なし。

### 3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

#### (1) 業績の状況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済対策や金融政策の期待感を背景に、円高の是正や株価の上昇などの明るい兆しが見られるものの、实体经济への波及には至っておらず、海外経済の減速も懸念されることから、先行き不透明な状況が続いている。

当社グループの関連業界においても、このような経済環境から、公共投資は増えているものの、建設業界の人手不足が懸念され、建設工事の着工等が遅れているのが現状である。また、円安による諸資材価格の上昇や原材料価格に見合う製品販売価格の改善が進まず、厳しい環境であったが、改善活動によるコスト低減の成果などにより、営業利益および経常利益を確保することができた。

その結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は4,950百万円(前年同四半期比7.6%減)、経常利益は23百万円(前年同四半期118百万円の経常利益)、四半期純損失は5百万円(前年同四半期57百万円の四半期純利益)となった。

#### (2) 財政状態の分析

##### 資産

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ728百万円増加して、24,470百万円となった。

これは主に、減価償却費の計上による有形固定資産の減少(前連結会計年度末比49百万円の減少)及び保有有価証券の株価の下落に伴う投資有価証券の減少(前連結会計年度末比50百万円の減少)により、固定資産が前連結会計年度末に比べ94百万円減少して、8,878百万円になったものの、商品及び製品の増加(前連結会計年度末比646百万円の増加)により、流動資産が前連結会計年度末に比べ823百万円増加して、15,591百万円になったことによるものである。

## 負債

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ830百万円増加して、10,398百万円となった。

これは主に、長期借入金の減少(前連結会計年度末比35百万円の減少)により、固定負債が前連結会計年度末に比べ25百万円減少して、1,482百万円になったものの、支払手形及び買掛金の増加(前連結会計年度末比926百万円の増加)により、流動負債が前連結会計年度末に比べ856百万円増加して8,916百万円になったことによるものである。

## 純資産

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ101百万円減少して、14,071百万円となった。

これは主に、利益剰余金の減少(前連結会計年度末比54百万円の減少)及びその他有価証券評価差額金の減少(前連結会計年度末比52百万円の減少)によるものである。

また、自己資本比率については、前連結会計年度末の59.2%から2.2ポイント減少して、当第1四半期連結会計期間末には57.0%となった。

### (3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結累計期間において、当連結会社の事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はない。

### (4) 研究開発活動

当第1四半期連結累計期間の試験研究費の総額は、1,930千円である。

なお、当第1四半期連結累計期間において当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はない。

### 第3 【提出会社の状況】

#### 1 【株式等の状況】

##### (1) 【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	55,950,000
計	55,950,000

###### 【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間 末現在発行数(株) (平成25年6月30日)	提出日現在 発行数(株) (平成25年8月9日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	19,970,000	19,970,000	東京証券取引所 (市場第二部)	単元株式数は1,000株である。
計	19,970,000	19,970,000		

##### (2) 【新株予約権等の状況】

該当事項なし。

##### (3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項なし。

##### (4) 【ライツプランの内容】

該当事項なし。

##### (5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成25年6月30日		19,970,000		1,969,269		1,399,606

##### (6) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はない。

(7) 【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日(平成25年3月31日)に基づく株主名簿による記載をしている。

【発行済株式】

平成25年3月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 479,000		
完全議決権株式(その他)	普通株式 19,405,000	19,405	
単元未満株式	普通株式 86,000		1単元(1,000株)未満の株式
発行済株式総数	19,970,000		
総株主の議決権		19,405	

(注) 「単元未満株式」欄の普通株式には、当社所有の自己株式937株が含まれている。

【自己株式等】

平成25年3月31日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) 北越メタル株式会社	新潟県長岡市蔵王 三丁目3番1号	479,000		479,000	2.4
計		479,000		479,000	2.4

2 【役員の状況】

該当事項なし。

## 第4 【経理の状況】

### 1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号。以下「四半期連結財務諸表規則」という。)に基づいて作成している。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間(平成25年4月1日から平成25年6月30日まで)及び第1四半期連結累計期間(平成25年4月1日から平成25年6月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について、高志監査法人による四半期レビューを受けている。

## 1【四半期連結財務諸表】

## (1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	4,868,241	4,709,774
受取手形及び売掛金	1 4,667,199	1 4,697,321
電子記録債権	1,936,541	2,300,419
商品及び製品	1,800,032	2,446,037
仕掛品	67,463	63,544
原材料及び貯蔵品	1,328,344	1,246,896
繰延税金資産	90,233	95,825
その他	24,865	51,037
貸倒引当金	15,512	19,672
流動資産合計	14,767,408	15,591,185
<b>固定資産</b>		
<b>有形固定資産</b>		
建物及び構築物	8,203,764	8,210,131
減価償却累計額	5,271,337	5,317,722
建物及び構築物(純額)	2,932,426	2,892,409
機械装置及び運搬具	19,445,919	19,379,029
減価償却累計額	16,797,781	16,750,690
機械装置及び運搬具(純額)	2,648,137	2,628,339
工具、器具及び備品	1,877,454	1,891,899
減価償却累計額	1,612,212	1,621,328
工具、器具及び備品(純額)	265,241	270,571
土地	1,782,632	1,769,141
リース資産	93,625	116,333
減価償却累計額	29,679	34,641
リース資産(純額)	63,946	81,691
建設仮勘定	-	700
有形固定資産合計	7,692,384	7,642,852
<b>無形固定資産</b>		
ソフトウェア	10,642	10,493
その他	4,026	4,008
無形固定資産合計	14,669	14,502
<b>投資その他の資産</b>		
投資有価証券	1,004,573	953,932
繰延税金資産	199,577	198,154
その他	79,482	86,377
貸倒引当金	16,933	16,843
投資その他の資産合計	1,266,700	1,221,620
固定資産合計	8,973,754	8,878,975
資産合計	23,741,162	24,470,161



(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1 6,117,018	1 7,043,700
短期借入金	1,092,452	1,047,505
未払法人税等	106,985	20,108
その他	1 743,554	1 804,770
流動負債合計	8,060,010	8,916,085
固定負債		
社債	150,000	150,000
長期借入金	534,434	498,444
退職給付引当金	650,989	670,448
役員退職慰労引当金	125,352	-
資産除去債務	6,469	6,487
その他	40,630	157,243
固定負債合計	1,507,875	1,482,623
負債合計	9,567,886	10,398,708
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,969,269	1,969,269
資本剰余金	1,399,606	1,399,606
利益剰余金	10,559,492	10,504,949
自己株式	81,268	81,380
株主資本合計	13,847,100	13,792,445
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	198,845	146,470
その他の包括利益累計額合計	198,845	146,470
少数株主持分	127,330	132,536
純資産合計	14,173,276	14,071,452
負債純資産合計	23,741,162	24,470,161

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
売上高	5,356,118	4,950,252
売上原価	4,593,624	4,338,815
売上総利益	762,494	611,436
販売費及び一般管理費	655,534	604,460
営業利益	106,959	6,975
営業外収益		
受取利息	130	121
受取配当金	17,922	16,753
その他	6,920	6,795
営業外収益合計	24,973	23,670
営業外費用		
支払利息	11,229	5,192
手形売却損	296	284
その他	2,334	1,373
営業外費用合計	13,860	6,850
経常利益	118,072	23,795
特別利益		
固定資産売却益	55	3,199
特別利益合計	55	3,199
特別損失		
減損損失	14,556	13,490
固定資産除却損	2,745	2,140
ゴルフ会員権評価損	953	-
特別損失合計	18,254	15,631
税金等調整前四半期純利益	99,873	11,364
法人税等	39,991	11,165
少数株主損益調整前四半期純利益	59,882	199
少数株主利益	2,702	6,016
四半期純利益又は四半期純損失( )	57,179	5,817

【四半期連結包括利益計算書】  
 【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	59,882	199
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	67,372	52,375
その他の包括利益合計	67,372	52,375
四半期包括利益	7,490	52,176
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	10,192	58,193
少数株主に係る四半期包括利益	2,702	6,016

【注記事項】

(継続企業の前提に関する事項)

該当事項なし。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

該当事項なし。

(会計方針の変更等)

該当事項なし。

(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

該当事項なし。

(追加情報)

当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日至平成25年6月30日)	
(役員退職慰労金制度の廃止)	
<p>当社及び連結子会社は、役員の退職慰労金の支払に備えるため、内規に基づく期末要支給額を「役員退職慰労引当金」として計上していたが、それぞれの取締役会において、役員退職慰労金制度の廃止を決議し、平成25年6月開催の定時株主総会において役員退職慰労金の打ち切り支給(支給の時期は各取締役及び各監査役の退任時)を決議した。</p> <p>これに伴い、当第1四半期連結会計期間において、「役員退職慰労引当金」の全額を取崩し、打ち切り支給に伴う未払額103,620千円を固定負債の「その他」に含めて表示している。</p>	

(四半期連結貸借対照表関係)

- 1 四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理については、満期日に決済が行われたものとして処理している。なお、当第1四半期連結会計期間末日が金融機関の休日であったため、次の四半期連結会計期間末日満期手形を満期日に決済が行われたものとして処理している。

前連結会計年度 (平成25年3月31日)		当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)	
受取手形	578,794千円	受取手形	533,059千円
支払手形	234,575千円	支払手形	277,141千円
設備関係支払手形 (流動負債「その他」)	77,669千円	設備関係支払手形 (流動負債「その他」)	14,032千円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

- 当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成していない。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりである。

前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日至平成24年6月30日)		当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日至平成25年6月30日)	
減価償却費	177,423千円	減価償却費	185,198千円

(株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

1 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年6月26日 定時株主総会	普通株式	89,360	4.50	平成24年3月31日	平成24年6月27日	利益剰余金

2 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日後となるもの  
該当事項なし。

3 株主資本の著しい変動に関する事項  
該当事項なし。

当第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

1 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年6月20日 定時株主総会	普通株式	48,725	2.50	平成25年3月31日	平成25年6月21日	利益剰余金

2 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日後となるもの  
該当事項なし。

3 株主資本の著しい変動に関する事項  
該当事項なし。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)

当社グループは、「鉄鋼事業」の単一セグメントであるため、記載を省略している。

当第1四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)

当社グループは、「鉄鋼事業」の単一セグメントであるため、記載を省略している。

(金融商品関係)

四半期連結財務諸表規則第17条の2の規定に基づき、注記を省略している。

(有価証券関係)

四半期連結財務諸表規則第17条の2の規定に基づき、注記を省略している。

(デリバティブ取引関係)

四半期連結財務諸表規則第17条の2の規定に基づき、注記を省略している。

(企業結合等関係)

該当事項なし。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益又は1株当たり四半期純損失及び算定上の基礎は、以下のとおりである。

項目	前第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)
1株当たり四半期純利益又は四半期純損失( )	2円88銭	0円30銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益又は四半期純損失( )(千円)	57,179	5,817
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る四半期純利益又は四半期純損失 ( )(千円)	57,179	5,817
普通株式の期中平均株式数(株)	19,857,934	19,489,772

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在せず、また、当第1四半期連結累計期間については1株当たり四半期純損失を計上しているため、記載していない。

(重要な後発事象)

該当事項なし。

2 【その他】

該当事項なし。

## 第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項なし。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年 8月 1日

北越メタル株式会社  
取締役会 御中

高志監査法人

指定社員  
業務執行社員 公認会計士 阿部和人印

指定社員  
業務執行社員 公認会計士 渡邊芳明印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている北越メタル株式会社の平成25年4月1日から平成26年3月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間(平成25年4月1日から平成25年6月30日まで)及び第1四半期連結累計期間(平成25年4月1日から平成25年6月30日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、北越メタル株式会社及び連結子会社の平成25年6月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管している。

2 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていない。